

## 葦山町

### 地形概況

東部は玄岳から西にのびる多賀火山の緩斜面と侵食谷がしめ、丹那断層が南北に通過する。西部は狩野川・柿沢川にそう三角州性低地がひろがり、旧河道や旧中州も残る。火山体の末端は丘陵性地形となり台地・扇状地が形成される。

### 地質概況

東部は多賀火山の西斜面にあたり、安山岩質溶岩や火山角礫岩が分布している。山麓には侵食により湯ヶ島層群が露出する。火山灰の堆積地には石英安山岩の貫入体もみられる。低地は泥層が厚く堆積し、砂泥礫層が分布する地域もある。

### 気象概況

年平均気温は推定 15.4℃、年平均降水量が推定 1,950mm で冬季は温暖で穏やかな晴天の日が続く、夏は涼しく、気温の年較差が少ない。降雨は県内では少ない方であるが春から夏季(5月～8月)にかけて全降水量の約 50%の雨が降る。

### 災害事例 地震

- 1930年11月26日(昭和5年)北伊豆地震 M=7.3  
丹那断層を生じ、伊豆北部を中心に被害が大きかった。当町でも死者75人、負傷者105人、住家全潰517戸、半潰335戸、付属建物倒壊1,084棟、建物損壊518棟、全焼3戸、荒廃林地4町歩などの大きな被害を受けた。
- 1923年9月1日(大正12年)関東地震 M=7.9  
東京・横浜を潰滅させた大地震。家屋全潰葦山村で23戸(1.9%)。
- 1854年12月23日(安政元年)安政東海地震 M=8.4  
県下に大被害を受けた大地震であるが、当地では葦山で震度5、原木で震度4の程度であった。

### 災害事例 台風

- 1958年9月26日(昭和33年)狩野川(22号)台風  
伊豆半島一帯で被害甚大で、死者・行方不明1,000人以上に達した。狩野川が増水し四日町付近の浸水水位は5m以上になった。被害は、死者66人、負傷者212人、行方不明2人、全壊50戸、半壊206戸、流失128戸、床上浸水874戸、床下浸水68戸、流埋田畑447haに及んでいる。
- 1924年9月16日(大正13年)  
県東部・伊豆半島で諸河川の氾濫による被害があった。葦山村では、床上浸水596戸、床下浸水97戸、冠水耕地(田畑)481haである。石廊崎で最大風速50.4m/s、雨量は、湯ヶ島330mm、下狩野290mm、伊東275mmに達した。
- 1914年8月29日(大正3年)  
午後から暴風雨となり、石廊崎で52.8m/sの最大風速を記録した。このため狩野川は増水し、平水位上約8mに達し、各所で堤防が決壊氾濫した。狩野川流域での被

害は堤防決壊・破損 972 箇所、橋梁流失・破損 516 箇所、住家流失崩壊 273 戸、浸水 5,566 戸、田畑流失・埋没 185ha などに及んだ。

- 1910 年 8 月 10 日(明治 43 年)  
全県下特に中・西部で被害が大きかった。山間部で降雨量多く、葦山村・中郷村で約 400 戸浸水。
- 1903 年 10 月 2 日 (明治 36 年)  
狩野川流域、豪雨で増水、被害を生じた。葦山村では浸水家屋 481 戸で、最高浸水水位は床上約 2m であった。